

マニラダウンタウンクラブとのIBC締結完了報告

会長 札埜慶一



小松年度(8年前)より懸案のマニラダウンタウンクラブ(以降MDYMC)とのIBC締結を2014年4月12日にフィリピンのマニラホテルにて行いました。MDYMCのメンバーは超大物ばかりで、荘厳な雰囲気にも圧倒され、私は緊張のあまり英語のスピーチを3か所(後藤ワイズのご指摘による)も忘れ空白の時間を作っていました。

IBC締結が無事完了したのは、深澤勇弘団長を始めとする、大川貴久書記、栗本治郎会計、後藤軍治副会計、後藤南海子メネット、八代一雄A副会長、鈴木恵次B副会長、山田修司IBC委員長、小松巖EMC委員長、松井清一会報委員、緒方哲郎プログラム委員の総計12人の訪問団、並びにクラブ内部でご尽力いただいた皆様、さらに京都パレス、東京グリーンクラブ皆様のおかげと大変感謝しております。

IBC締結は熱海クラブとしては26年ぶりがかつ最大の参加人数との事。山田委員長の2年半にわたるご指導、ご鞭撻には頭が下がりました。小松委員長は、滞在先での通訳、ガイドの手配等あらゆる面で細かいお気遣いをいただきました。後藤副会計は奥様を同伴され、熱海クラブのレベルアップに貢献して頂きました。松井ワイズは今回は行方不明ならず団体行動をしていただき、緒方ワイズは新人とは思えない活躍で、さらにマイクロバスのご提供、運転ご苦労様でした。大川書記には写真撮影を始めとし、50周年の歩み、50周年記念例会のAVPを提供していただき、MDYMCでのIBC締結会場にてオンエア、和やかな雰囲気を出すのに一役買いました。

マニラダウンタウンクラブとの締結式に出席して

団長 深澤勇弘



今回、会長経験もない私が団長としてマニラクラブに訪問することになったのは田中直前会長の「俺は行けねえ」の一言でした。

4月10日に成田空港を発ち、真夏の地、マニラに着いたのは午後の2時。マニラ空港からガイドの車でアンヘレスへ向かうのだが、とにかくマニラ市内は車の渋滞が酷い。普通なら2時間ほどで着く距離が4時間近く車で揺られる羽目に…。私は前日に成田で仕事があったため、成田空港に直接合流だったので朝がゆっくりできました。それでも疲れたのに、熱海出発組は朝4時出発。移動時間が14時間…。さぞ疲れたことでしょう。

やっとのことで到着したアンヘレスでは観光やゴルフなどでよい汗を流し時にはホテルのプールで泳いだりしながら2泊しました。

12日(土)締結式当日の朝、マニラに向かいマニラ市内の日本居酒屋で熱海nightを行いました。本来なら読んで字の如く夜やるものですが、今回は時間的都合などで熱海noonとして昼食を兼ねて行いました。日本の居酒屋で出そうなものは大抵ありましたが、やはり味がいい。刺し身…いまいち。焼き鳥…こんなもんか。鰻の

た。栗本会計には予算措置などで柔軟な運営をしていただき、さらにIBC締結において重みを添えていただきました。八代副会長には陰になり、日向になり全面的なバックアップを頂きました。鈴木副会長は現地に詳しいようでいろいろとサジェストをいただきました。また深澤団長のスピーチは見事なもので「マガンダンガビ 今晚は」と掴みは万全、締めくくりも「サラマッポ ありがとう」と閉めて頂き、喝采を受けていました。未来の熱海ワイズを背負う若者として立派に団長を勤め上げました。

マニラダウンタウンクラブは設立より63年たっており、メンバー数も63人と多く、大物ぞろいのお兄さんクラブです。銀行の頭取、SMの社長、Abasの社長、海運会社の社長など世界でも指折の大物ぞろいで私など足元にも及びません。フリーメイソンのグランドマスターもおられるこの方たちが実質、国を動かしているのだらうと強く感じました。ロータリークラブ、ライオンズクラブなどを経てやっとY'sメンバーになれるらしく日本との違いは大きいものでした。この様なクラブとIBC締結ができたことを非常にうれしく思っております。

現在、IBC締結書類はナイジェリアの国際書記の元に送付されており、国際書記がサインした後、近々各クラブに戻ってくるとのことでした。MDYMCからはトライアングル、スクエアが将来的にできることを希望されていました。この辺はまた皆様にご相談しながら検討していきたいと思っております。皆様のおかげでIBC締結ができたことを改めて御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

蒲焼…いまいち。それでもメンバーの皆と食事をとり和気藹々とても楽しかったです。

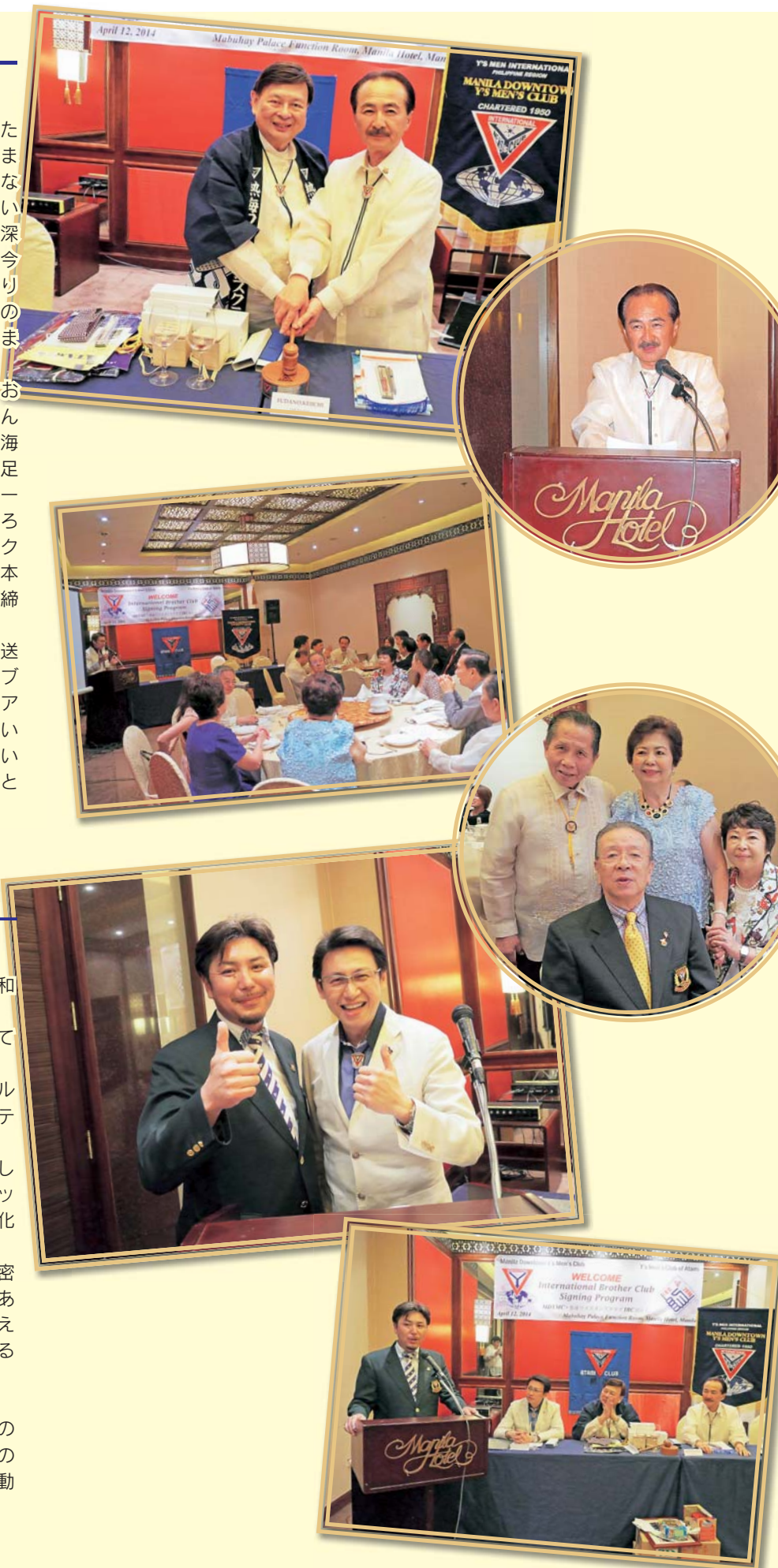
数時間後には締結式があるのでお酒もそこそこにしてホテルに戻りました。

締結式はマッカーサーやチャールズ皇太子、ビートルズなどの名高い人たちが泊まった歴史深い『マニラホテル』で行われました。

マニラダウンタウンクラブは1950年にチャーターし現在の会員数は63名。メンバーのほとんどが企業のトップで構成されているそうです。現在の会長は数ある電化量販店のトップのアベンソンの社長とのことでした。

初めて出席した締結式では都市伝説にも出てくる秘密結社のフリーメイソンにお会いする超レアな体験などありながらも肅々に尚且つ淡々と進み、メンバーにも支えられマニラクラブ初代団長としての役目を無事に終えることができました。

最後にひとつ気になったのはジブニーなる乗り合いのタクシーにとっても興味を抱いてた緒方ワイズ。熱海での新たな商売に結びつけるのか。小形タクシーの今後の動向が気になる。



新入会員自己紹介

野田 進



昭和29年3月6日生まれで、今年60才になりました。女房とは35年、寄り添って、暮らしてきましたが、平成23年3月28日に他界してしまい、今一人で、淋しい生活をしています。市内で株式会社野田造園を営んでおり、

二人いる子供のうち長男は結婚し、今一緒に仕事をしています。

長女も結婚しており、子供も4才の女の子と、今年の7月に二人目の子供が生まれる予定です。今は、孫と遊ぶのが唯一の楽しみです。

趣味はゴルフと野球で、ゴルフはプレー後の一杯がいいですね。野球歴は44年で、今はレッド・アローのクラブチームの監督をしています。

ワイズに入っの抱負は、皆様方に御迷惑にならないように、やっていければと思っています。

松永正考



この度、入会させて頂くことになりました松永正考です。正しく考える、と書いて「まさたか」と読みます。

親の期待のこもった名前と自負しておりますが、期待は期待、現実には現実と割り切っております。

しかし、私も半年前に一児の父となり、娘の名前を「優結(ゆい)と名付けました。多くの人と縁を優しく結ぶ人になって欲しいという想いから名付けました。自分の事は棚に上げ、娘には親の期待を裏切らないでほしいものです。

家族構成は妻と娘の3人で、妻とは8年の交際を経て結婚に至り、まさに大恋愛の末の結婚でした。結婚当初は横浜に住み、私は東京で、妻は熱海で、互いに仕事をしておりましたが、1年半ほど前に私も熱海で義祖父の創業した富士自動車電機で働くことになり今に至ります。前職では商品企画や海外とのOEM生産など事務職をしておりましたが、現在はドコモショップの販売スタッフをしつつ、売上管理、飲み会企画に奮闘しております。笑

結びに、妻の母校伊豆山小学校も少子化により生徒の数は激減していると聞き、一児の父となった私も他人事ではないと考えております。ワイズメンズクラブを通じて微力ではありますが、青少年育成、社会貢献をさせて頂きたい所存です。よろしくお願い致します。